

勢和小学校だより



明日も行きたくなる勢和小 ～楽しく笑って過ごせるように、やって、考え、工夫しよう～

発行日：令和7年6月20日

第12号

歯の磨き方を復習し、丁寧な磨き方を身につけよう



6月4日（水）から17日（火）までは、給食後の歯磨きに力を入れる「はっぴー週間」でした。

取り組み前に全校を対象にしたアンケートを実施したところ、給食後に歯磨きをしていない児童が少数ながらいることが分かり、今回取り組むことになりました。

小学生は乳歯から永久歯に生え替わる時期で、永久歯に生え替わると、むし歯の数は一旦減少します。しかし、食後の歯磨き習慣が定着していないと、生え替わったときにはきれいな歯でも、むし歯や歯肉炎、歯周病などにつながっていきます。

「はっぴー週間」では、手鏡で口の中を観察しながら、左奥歯下から下の前歯など磨くところを順番に、3分間の歯磨き用の曲に合わせて、子どもたちは磨いていました。取り組み始めて数日経った頃には、「最近、歯磨きが楽しくなってきた。」と言っている人がいました。家庭でも曲を流しながら磨いている人もいます。はっぴー週間の取組で、我流だった磨き方を見直し、隅々まで磨こうとする意識とスキル、習慣が身についていることを期待しています。

スモールステップによる目標達成で自己肯定感と意欲が向上する



先日、給食準備の様子を見回っていたところ、既に準備を終え、給食を食べ始めているクラスがありました。思わず時計で時刻を確認したくらいです。

5年2組では、時間を意識させて給食準備をさせており、この時は2分30秒で完了



したようです。子どもたちからは、「2分7秒の時もある」「今日はちょっと遅かった」という声が聞けましたが、表情からは「自分たちすごいでしょ。」という自信がうかがえました。

給食準備という日常の中でも目標を意識させることで、ゴールが明確になり子どもたちは意欲的になります。そして「頑張ったらこんなに早くできるんだ。」と感ずることができれば、「よし、次はもっと早くできるようにし

よう。」と工夫し始め、期待感や充足感につながります。

5月のケガ 4月よりかなり増えました

5月のケガ数は124件で、4月の78件からかなり増えました。6年生は5月もケガ発生件数が全校最少でしたが、学年によっては2倍、または3倍とケガが増えていて深刻です。ケガの多くは打撲と擦り傷で、打撲は51件ありました。「座ろうとしたら転んだ」「ボールに当たった」「水筒を足に落とした」「ドアにぶつめた」など、人とぶつかる、物にぶつかるなどが打撲の主な原因です。

ケガの未然防止には安全な環境を整備することと同時に、子どもたちの安全意識を高めていく必要があります。本校では、「やって、考え、工夫しよう」で、子どもたちの自治活動に力をいれており、ケガ防止に向けて、環境委員会による安全点検をはじめ、保健委員会によるケガの発生件数についての掲示、生活委員会による「階

段は1段ずつ」など注意喚起などを委員会が連携して取り組みを進めています。またケガが多かった学年では重点課題として認識させ、自分たちの行動について振り返りを行っています。

全校体制でケガの未然防止に取り組み、6月のケガ発生件数を減らしていきます。

子どもの視点を加えた安全点検

ケガ未然防止のため、本校では職員の安全点検に加え、委員会の時間帯を利用して環境委員会による安全点検を実施しています。子どもたちにも安全な環境を整備が必要だとする認識を持たせ、環境改善に一役買ってもらうことを期待しています。

点検結果から一部紹介

- 3年教室前の手すりが揺れる
- 理科室機のゴムがはがれている
- iPad収納庫が地震時に倒れそう

交通事故に巻き込まれないために

小学生の列に車が突っ込む事故報道をたびたび耳にすることがあったことから、必要な安全対策について勢和駐在所を通じて松阪警察署交通課に問い合わせました。事故の未然防止と、事故後の対応について右のことを教えていただきました。

学校でも担任から指導いたしますが、ご家庭でもご確認をお願いします。

○交通事故未然防止のために

- ・右側(グリーンベルト)を一行に、はみ出さずに歩く
- ・前から来る車に注意
- ・オーバーアクションで(お礼、横断)

○もし事故に巻き込まれたら

- ・近くの大人に助けを求める
- ・加害者に保護者の連絡先を伝え連絡してもらう
- ・加害者が逃げようとしたらナンバーを覚える
- ・ケガがなくても「大丈夫」とは言わない